※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１５

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　現代の国語　（数研出版）						
副教材等	・カラー版新国語便覧（第一学習社） ・ＬＴ現代文１（浜島書店） ・四訂版　漢字検定 5～2 級対応　常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けていくよう心がけてください。
・予習、復習、課題は必ず丁寧にこなしてください。また、提出物の期限は守り、定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自分で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のように育成することをめざす。
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	対比の構造 ［教材］水の東西	a：文章の構成や展開、筆者の意図をとらえ、語句の意味や用法を理解している。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、文体、語句などの表現を工夫している。 c：言葉やコミュニケーションに対して関心を持ち、「現代の国語」の学習に意欲を持っている。	小テスト 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	一般論と主張 ［教材］「大人になる」ための条件	a：文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえ、語句の意味や用法を理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえることに意欲をもち、筆者の意図をとらえようとしている。	小テスト ワークシート 定期考査	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	論理とレトリック ［教材］コインは円形か	a：話し言葉と書き言葉の特徴、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話・聞]：話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるよう表現を工夫している。 c：相手に伝わるよう、わかりやすく書こうとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 観察	ワークシート 観察
	実用の文章 ［教材］コミュニケーションの手段を考える	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるよう論理の展開、構成を考え、表現を工夫している。 c：文章の構成や論理展開を意識し、根拠を明確にして、自分の意見を書こうとしている。	定期テスト 小テスト	ワークシート	ワークシート
	具体と抽象 ［教材］いま平和とは	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している c：論理的文章を読むことに興味をもち、筆者の意図をとらえようとしている。	定期テスト	定期テスト	ノート ワークシート
二学期	比較する ［教材］政治的思考	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[話・聞]：相手の興味を引くように構成や展開を工夫して話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：聞き手を意識し、構成や展開、表現のしかたを工夫して話そうとしている。	定期テスト	ワークシート	観察 振り返りシート
	視野を広げる	a： 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。	定期テスト	ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期		b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：統計資料を正確に読み取ることに意欲的に取り組み、読み取った情報を活用して自分の主張を書こうとしている。			
	［教材］他者を理解するということ				
	思考を深める	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話・聞]：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価し、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深め、目的に沿った質問をする学習に意欲的に取り組もうとしている。	定期テスト	ワークシート	ワークシート
	［教材］時間と自由の関係について 話すトレーニング				
	実用の文章	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている c：複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート	ワークシート ノート
	［教材］ 文章の構成を工夫して提案する				
	実用の文章	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：企画書を書く活動に興味をもち、効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート	ワークシート
	［教材］課題を発見し解決策を発表する				
	実用の文章	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている c：情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	定期テスト	ワークシート	ワークシート ノート
	［教材］ グラフ・実用文の読み方				
三学期	書き言葉の技術	a：推論のしかたを理解し使っている。 b[読]：文章の構成や展開、筆者の意図をとらえ、語句の意味や用法を理解している。また叙述をふまえ、自分の考えを深めている。 c：必要な情報を読み取ったり、その情報を活用したりすることを意識しながら、文章を読もうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	［教材］ 文章トレーニング1 文章トレーニング2 文章トレーニング3 文章トレーニング4 文章トレーニング5				
	言語技術の実践	a：推論のしかたを理解し使っている。	定期考査	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	[教材] レポート プレゼンテーション ディベート・討議	b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。また読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：積極的に情報を集め、レポートを書く活動に意欲的に取り組んでいる。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間